



Document Summary



[Preview Claims](#)
[Preview Full Text](#)
[Preview Full Image](#)

Email Link:

Document ID: JP 05-289855 A2

Title: METHOD FOR INSTALLING SOFTWARE

Assignee: MEIDENSHA CORP

Inventor: SANO TOSHIRO
SUZUKI MINORU

US Class:

Int'l Class: G06F 09/06 A

Issue Date: 11/05/1993

Filing Date: 04/14/1992

Abstract:

PURPOSE: To surely and easily enable the installation by allowing an installation module to have a fundamental program and an installation program, and installing an OS, etc., by executing the installation program by the start of the fundamental program.

CONSTITUTION: When a power source installed automatically is turned on, a fundamental software in an installation module 5 rises, and an installation program operates automatically. This program initializes a hard disk(HD) 2 which becomes an auxiliary storage device of a CPU, and installs an image of a fundamental OS from the auxiliary storage device 4 which becomes a device for installation, in the HD 2. An application software is installed by a user's selecting operation by storing in advance a user's separate installation program in the module 5. For the purpose thereof, it is realized by setting the program of the installation module 5 to a disclosure system, and changing in advance the installation program by a programmer.

(C)1993,JPO&Japio

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-289855

(43)公開日 平成5年(1993)11月5日

(51)Int.Cl.⁵

G 0 6 F 9/06

識別記号

府内整理番号

4 1 0 D 8944-5B

F I

技術表示箇所

(21)出願番号

特願平4-93214

(22)出願日

平成4年(1992)4月14日

(71)出願人 000006105

株式会社明電舎

東京都品川区大崎2丁目1番17号

(72)発明者

佐野 敏朗

東京都品川区大崎2丁目1番17号 株式会

社明電舎内

(72)発明者

鈴木 実

東京都品川区大崎2丁目1番17号 株式会

社明電舎内

(74)代理人 弁理士 志賀 富士弥 (外1名)

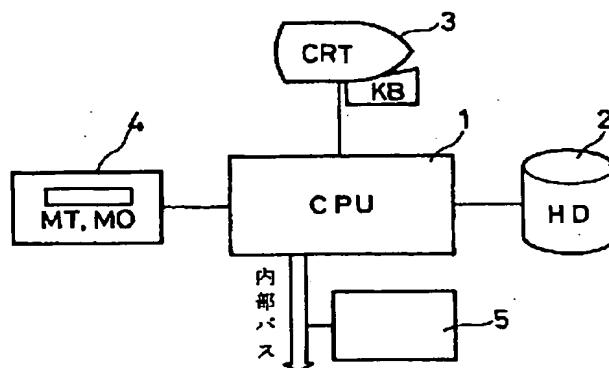
(54)【発明の名称】 ソフトウェアのインストール方法

(57)【要約】

【目的】 ソフトウェアのインストールを確実、容易にする。

【構成】 コンピュータ本体1に結合されるインストールモジュール5にOS及び基本ソフトウェアの自動インストールのための基本プログラム及びインストールプログラムを格納しておき、コンピュータの電源オンによってインストールモジュールにより自動インストールを行う。

実施例のシステム構成図



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】コンピュータにOSや基本ソフトウェア及びアプリケーションソフトウェアをインストールするにおいて、内部バスを介してコンピュータ本体に結合される不揮発性メモリ構成のインストールモジュールを設け、該インストールモジュールはインストールに必要な基本プログラムとインストールプログラムを持ち、コンピュータ本体の電源オンによって前記基本プログラムを立上げ、この立上げによる前記インストールプログラムの実行で前記OSや基本ソフトウェアをインストールすることを特徴とするソフトウェアのインストール方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、コンピュータのソフトウェアインストール方法に関する。

【0002】

【従来の技術】コンピュータにOSや基本ソフトウェアさらにはアプリケーションソフトウェアをインストールするには、コンピュータメーカより提供されるメディアを用い、ユーザがキーボードによってコマンドを入力するのが一般的に採用されている。

【0003】図3は従来のインストール手順を示し、ハードウェアの接続と電源オンした後(S1)、ハードディスクの初期化と基本OS(UNIX等)をインストールし(S2)、この後に各種アプリケーションプログラムのインストールによってユーザ毎のカスタマイズを行い(S3)、必要とするプログラムのインストール終了(S4)でインストール操作を終了する。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】従来のインストール方法では、ハードディスクの初期化から各種アプリケーションソフトウェアのインストールまでユーザが各種のコマンド入力を必要とし、これには専門的な知識や多くの時間を必要としていた。

【0005】特に、UNIXワークステーションに対するOSのインストールでは、以下の問題があった。

【0006】(1)コンピュータにターゲットOSをインストールする前にハードディスクを初期化してインストール用のOSを作成する必要がある。

【0007】(2)インストールの際に多くのコマンド入力をを行う必要があり、入力操作に間違いが生じ易い。

【0008】(3)インストールの際にユーザの環境に合わせて種々のカスタマイズが必要となるため、OSに不慣れなものには負担が大き過ぎる。

【0009】(4)インストール時の入力ミスによって後日のアプリケーション使用に不都合が生じることがある。

【0010】上述のような問題から、現実的にはユーザサイドでのソフトウェアのインストールは極めて難しいものであった。またコンピュータで何らかのシステムを

2

開発してエンドユーザに納入する際には上述のOSのインストールが必要なのに加えてアプリケーションプログラムのインストールも必要となる。このため、納入先で複雑なインストールが必要となるばかりでなく、コンピュータの万一の故障に際して代替機にOSやアプリケーションをインストールする際に同様の手間が必要となっていた。

【0011】本発明の目的は、ソフトウェアのインストールを確実、容易にすることにある。

10 【0012】

【課題を解決するための手段】本発明は、前記課題の解決を図るため、コンピュータにOSや基本ソフトウェア及びアプリケーションソフトウェアをインストールするにおいて、内部バスを介してコンピュータ本体に結合される不揮発性メモリ構成のインストールモジュールを設け、該インストールモジュールはインストールに必要な基本プログラムとインストールプログラムを持ち、コンピュータ本体の電源オンによって前記基本プログラムを立上げ、この立上げによる前記インストールプログラムの実行で前記OSや基本ソフトウェアをインストールすることを特徴とする。

【0013】

【作用】OSや基本ソフトウェアのインストールを行うための手続きをインストールモジュールに格納しておき、コンピュータの電源オンによって該モジュールの自動立上げによってOSや基本ソフトウェアの自動インストールを行う。この自動インストールにはOSや基本ソフトウェアを格納する補助記憶装置の初期化も行う。

【0014】

30 【実施例】図1は本発明の一実施例を示すシステム構成図である。コンピュータ本体1はハードディスク2を外付け又は内蔵し、データやコマンドの入出力装置3と結合されるほか、補助記憶装置4(磁気テープMTや光磁気ディスクMO等)と結合される。さらに、内部バスには不揮発性メモリ構成のインストールモジュール5が結合される。

【0015】インストールモジュール5は、コンピュータ本体1にOSをインストールするのに必要な最低限度の基本ソフトウェアとインストール用プログラムを収納し、このハードウェア構成は、ROMモジュール又はバッテリバックアップされたRAMモジュールにされる。

【0016】上述の構成によるインストール手順は図2に示すように、ハードウェア接続と電源オン(S1)によってインストールモジュール5による自動インストールがなされる(S5)。

【0017】この自動インストールは、電源オンによりインストールモジュール5内の基本ソフトウェアが立ち上がり、インストールプログラムが自動的に動作する。このインストールプログラムはコンピュータ内部の補助記憶装置になるハードディスク2を初期化し、インストール

3

用のデバイスになる補助記憶装置4からの基本OSのイメージをハードディスク2にインストールする。

【0018】従って、ユーザはハードウェアの接続を行った後、電源オンするだけで基本OSのインストールを行うことができる。

【0019】次に、アプリケーションソフトウェアのインストールはユーザー個別のインストールプログラムをモジュール5に格納しておき、ユーザによるその選択操作でなされる。このためには、インストールモジュール5内のプログラムを公開方式とし、プログラマがインストールプログラムを変更しておくことで実現される。

【0020】なお、ユーザのハードウェア構成の違いに對しては、インストールモジュール5を複数個用意するか、インストールモジュール5にスイッチを用意してユーザが選択すること、又は画面上に表示するメッセージにしたがってキー入力を行うことでユーザ操作を簡易にすることができます。

【0021】

【発明の効果】以上のとおり、本発明によれば、OSや基本ソフトウェアのインストールにインストールモジュールによる自動インストールを行うインストール方法となり、以下の効果を奏する。

【0022】(1) ソフトウェアインストールの際の複

4

雑な操作を不要にし、ユーザはハードウェアの接続のみで良い。

【0023】(2) ユーザ自身でソフトウェアのインストールが可能で、メーカ側がインストールに出向くのを不要にする。

【0024】(3) ユーザは直接にインストールコマンドを入力操作することがなくなるため、ソフトウェアのインストールに間違いが生じない。

10

【0025】(4) ブラブル発生時の敏速なトラブルシユーティングが可能となる。即ちコンピュータのハードウェア故障時に故障したハードウェアを交換した後、自動インストールによって速やかに元の状態に復帰できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示すシステム構成図。

【図2】実施例のインストール手順図。

【図3】従来のインストール手順図。

【符号の説明】

1…コンピュータ本体

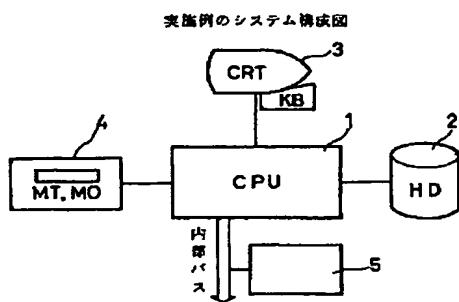
2…ハードディスク

3…入出力装置

4…補助記憶装置

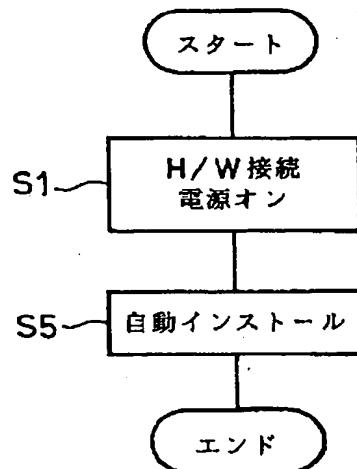
5…インストールモジュール

【図1】



【図2】

実施例のインストール手順図



【図3】

従来のインストール手順図

